



ねっどわーく



H24. 11. 06 No.50

■東北特別活動秋田大会に参加して

お忙しい中、1日～2日と、東北特別活動秋田大会に参加させていただきました。いよいよ来年度は私たちの発表ということで、授業を中心としながらも、校内環境や運営関係面についても見てきたところです。

昨年、宮城の大会にも参加させていただいたのですが、昨年度以上に、子どもたちがどの学年も生き生きとしていたのが印象的でした。詳しい報告は、後日研修報告として、映像等入れながら行いたいと思います。ので、今回は簡単にご報告します。

学級目標の掲示

自分たちの学級が、どこへ向かうのかの指針。絵餅ではなく。

■話し方名人

・基本話型という、それだけになってしまうのが意味怖いのですが、そうではなく意見が言いたくても言えない子のためにあるというお話でした。

このあたたかさは、学活だけでなく、やはり普通の授業から出ているものと思われる。他を大事にする感覚かな・・・。

黒板をディスプレイ化する。

- ・司会団も、黒板をさえぎらない。
- ・短冊の有効利用

先生の出

・子どもたちの意見だけでなく、表情などもとらえていることに拍手。

見た中では一番良かった。(教頭先生とも意見が合いました。)とにかくクラスがあっただかい。ちゃんと友だちの意見を聞く姿勢から醸し出されている。自分の意見をきちんと話すことに意識が向きがちだが、きちんと聞く大事さをやはり痛感。

2年生の授業

本当に 大事にしたいこと (来年度に向けてというよりも、基本、ずっと!)

「やらせではなく 本当に子どもたちが 子どもたち自身で 学校生活を 楽しんで良いものにしていこうとする態度」